

淡水

たんすい

1990.3 36号

淡水三十六号

〈目次〉

■グラビア	高丸の丘へサヨナラ会より……………	1
〈巻頭言〉	創立六十周年に思う……………	中内 功…………… 9
〈学長挨拶〉	新しい「高丸ヶ丘」に……………	能勢 哲也…………… 12
〈説苑〉	ポーランド紀行——アウシユピッツ——……………	松村信治郎…………… 15
	ドキュメント 戦後の一地方紙の軌跡……………	和木 保選…………… 20
	随筆「監査役無力論」……………	榊原 芳平…………… 25
	永遠のバイオニア……………	三成 利男…………… 33
	研究発表 新英研による英語教育の研究……………	伴 和夫…………… 37
	會津八一と會津紀伊子……………	豊原 治郎…………… 40
	“魅力溢れるメーカー作り”を指して……………	木下 幹彌…………… 43
	『素人名人会』と私——放送開始三十周年を迎えて……………	岡崎 巍…………… 47
〈座談会〉	学四座談会 われらの時代を語る……………	53
〈特別企画〉	さらば高丸……………	60
	いとしの学舎よ花よ木よ——淡水サヨナラ会に参加して……………	寺田 武義…………… 66
	新聞記事から……………	68
	年表 母校この十年（昭和五十三年～平成元年）……………	70
〈恩師から〉	月に要 <small>なまめ</small> 正食以外に大切なこと……………	高木 正雄…………… 76

〈淡水想苑〉

学部運営と国際経営論

渡部浩太郎 77

公会計研究の日々

吉田 寛 79

ペDESTリアンの弁

正亀 慶介 82

フィリピン訪問記 マルコスからアキノへの移行をみる

江川 育志 86

我が想い出

家田秀之助 89

「神戸背山登山の思い出」と私の思い出

北條 正弘 90

昭和も去りて

宮本 弘之 94

ベルデ鳥戦跡慰霊紀行

田中 健雄 95

松本幹雄先生の思い出

宮地 毅 102

「クロックケーと現代財政学研究」にかける夢

高島 博 105

奥飛驒ヒユツテに集合

井上 二郎 107

シドニーの午後

藪内 繁己 109

エバークリーン州立大学での教育体験

有馬 昌宏 114

卒業十年目を迎えて想うこと

久留島正信 121

軟庭部の憶い出

住友 義昭 123

お人柄と云うべきか

神崎 知成 125

淡白カップル

古賀 和昭、幸子 126

二代良き師にめぐり会う

中出 雅淳、裕康 127

幅広い活動でますます盛ん 富永 和男（富永貿易㈱社長）

聞き手 浅沼 進 129

異色の道を歩む——俳優 阿木 五郎

聞き手 安井 光治 132

麦の穂／安田栄、栗落つる／歎崎汎洋、旅中吟／田中撲風、花辛夷／寺崎野鶴、

初観音／花岡花人、遠花火／小林拓水、かなしき赤旗／鈴木正久、級友K君に捧

ぐ／茂原龍一、異端者／築谷三郎、白の重さ／西藤優

136

〈会員著書紹介〉

〈かなしみ〉	大塚正夫君を偲んで……………	若林 幹三、浜田 英二……………	154
	惜別 横尾進三君を憶う……………	西本 保……………	156
	荒川克己(数巳)君のみたまに……………	今西 英造……………	156
	川名に話してやりたいこと……………	田中 幸男……………	158
〈大学日誌〉	学術講演会報告……………	齋藤 修……………	172
	新学舎建設概要……………	松岡 宏明……………	173
	新キャンパスの情報通信ネットワーク——K I S N E T……………	青沼 龍雄……………	176
〈ゼミ紹介〉	山本ゼミ／樋口ゼミ／阿部ゼミ／安室ゼミ……………	秦 寧……………	178
〈留学生だより〉	常識について……………	張 麗笑……………	185
	留学生会について……………	Shanaka De Silva……………	186
	神商大での生活……………	李 仁萍・于 大海……………	187
〈淡水会だより〉	親切、正直な川鍋教授……………	戸田 潤……………	188
	本部、支部だより、クラス会、ゼミ会……………	伊豆 勝行……………	189
	学舎移転・商大運動部に期待する……………	……………	251
	クラブOB会……………	……………	252
〈クラブホットライン〉	……………	……………	269
〈淡水銘店街〉	茶舗 滴水軒……………	……………	284
〈編集後記〉	……………	……………	289
〈各支部役員〉	……………	……………	290